

安保関連法案ってなに？

もうすぐ 70 年目の敗戦の日を迎えます。戦後、日本は平和を希求し、戦争放棄の国家として歩んできました。しかし、今、日本のあり方が大きく変えられようとしています。ほとんどの憲法学者が違憲だと証言し、多くの国民が反対する中、7月16日、安倍内閣は衆議院で安全保障関連法案を強行採決しました。

省し、平和を実現するために活動している団体です。今回もこの法案に対して

反対の声をあげました。編集部では、この法案について神戸 YWCA に関わる方々にインタビューをし、考えや疑問を集めました。神戸 YWCA 平和活動部の協力を得て、ゆるキャラ・憲法ちゃんが答えます。今までこの問題について考えたことのない方も、ともに学び、気づく場になればと願っています。

YWCA は 過去の戦争に「NO」といえなかったことを深く反



安保関連法案？わからへん。毎日の生活で精一杯やわ。

日本の安全保障についての法律案をまとめた呼び方で、昨年夏に閣議決定された「集団的自衛権」を使えるようにするためのものとか、全部で 11 本あるんよ。



この法案が通ったら、自衛隊はアメリカと協力して世界のどこにでも行って、武力行使ができるようになるんやで！



うそお、自衛隊が？いつの間に…。

安倍政権は、11 本もの法案をひとまとめにして、国民に十分な説明をしないまま、短い時間で強行採決してしまたのよ。



それちょっと不安 Σ(°Д°)！

でしょ！毎日忙しいけど、他人事とちゃうで！日頃から関心持たなあかんわ。



尖閣諸島とか、北朝鮮のミサイルのこと考えると、備えはいるよね。

今の自衛隊と「個別的自衛権」で十分。憲法 9 条を読んでみて。



ほんでも、なんか抑止力？みたいなのが要らんちゃう？

武力は戦争を止める力にはならへん。アメリカと一緒に武力なんか使ってみ、日本もすぐ攻撃対象になるで！命が奪われる悲惨な連鎖を作り出すだけよ。



ふうん…ほんまに武力なしで自分の国を守れるのかなあ？

日本は戦後今まで、それをやってきたんよ。医療、教育、技術支援など、民間レベルでも武力以外の貢献をしてきたからこそ、国際社会の信頼を得てるんやで。



でも、日本はお金しか出さへん、て思われてるやん。

日本だけが軍事協力をしてないから肩身が狭い、というのはちゃうで！武力以外で国際貢献する方法はあるんちゃう？



そのうち徴兵制になったりするかな？

今の憲法では NO、て自民党は言うてるけど。それでも、もしあなたが進学や生活のために自衛隊に入るしかなかったら？それは「経済的徴兵制」やよね。いつでも誰にでも起こりうることやわ。



それか、憲法の解釈を変えて OK にしてしまうかも！

オーノー(°Д°)！



なんか政治って。。

与党も野党も言ってること信じられへんよな〜。

たしかに、政治が信用できない現実が残念やわ。



せやから深入りせんように、できるだけ中立を保つようにしてるんよ。

中立ねえ…政治は社会のあり方を決めることなんやから、憲法 12 条にもあるように、私たち主権者が 1 人ひとり声をあげて、自由と権利を守るための「不断的努力」をせなあかんねんで。選挙の時はどうするの？



うーん、誰を選んだらいいのか…たぶん白紙で出すわ…。

入れたい人いないからってそうする人いるよね。それって、カウントされへんから、何の意思表示にもならへんよ。よく考えて候補者を選ばないと！



私 18 歳やから来年投票できるんやけど、何を参考にしたらいいのかなあ？

そうよね。急に選挙権あるって言われても、分からへんことだらけよね。本を読んだり、人に聞いたりして視野を広げることかな。ただ、何でも鵜呑みにするんじゃないで、「それおかしくない？」と思う感覚を大切にしてほしいなあ。



これさ、法案が通っても政権が変わったら変えられるもんなん？

どんな法律も国会で改正案を提案して、議決されたら変えることができるんよ。衆議院・参議院とも、改正案に賛成する議員が多かったらね。だからこそ選挙は大事なんよ。



デモは言いたいことを言ってるだけみたいで、ちょっと(；Д；) あれって効果あるんかな？

自分に関係ないと思ったらそうなるんかなあ。選挙は間接的やけど、デモは市民が直接政治に関わることができる方法のひとつやし、憲法 21 条で保障された市民の権利でもあるんやで。



この法案に反対するデモは、全国に広がってるよね。それだけ多くの人に共感されてるし、権力者にとっては大きな脅威にもなるんよ。

もちろん、デモじゃなくても方法はある！国会議員に意見を送ったり、周りの人たちに伝えたり…。少しずつでもまず知って、できることから始めよう！



続きは、8/19 の「どうなってるの、今の日本？」で話さへん？ 4 面を見てね〜。

地域交流スペース オープン！

分室では、毎日のようにプログラムがあり、年間のべ2,000人以上のボランティアが活動し、のべ1,200人が利用しています。

今年3月、神戸YWCA分室のガレージが地域交流スペースとして生まれ変わりました。半年ほどかけて、その雰囲気や活用方法を自分たちで決め、ワークショップや話し合いを重ねながら、この場所をつくってきました。

このスペースをうまく活用していくために、地域福祉部にチームが作られ、運営のしかたを検討しています。

まずは定期プログラムとして「木曜カフェ」を毎週午後2時から開き、手づくりの雑貨やこだわりの食べものなどを販売しています。午前中はどなたでも気軽に立ち寄っていただけるように、椅子やテーブルを置いてオープンスペースとして開放しています。

また、小学生の理科実験プログラム「わいわい科学クラブ」も本館と分室をうまく使い分けてプログラムを行なっています。



今後は、ギャラリー、勉強会、上映会、ガレージセール、グループの集まりなど、使い方の可能性は広がります。

神戸YWCAのビジョンの一つである「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を実現するために、ここにたくさんの方が集い、つながりの輪が広がることを願っています。

スペースを使ってみたい方や、「地域交流スペース」の新しい愛称のアイデアをお持ちの方は、担当の大江までご連絡ください。(大江 雅子)

アフターヌーン・ティー

7月7日(火)のアフターヌーン・ティーは「憲法前文から憲法九条を考える」と題して、熊野勝之弁護士に講演していただいた。憲法を自他の戦争体験とその後の体験を通して、読むことの大切さを話された。

日本国憲法の神髄は「全世界の国民の平和的生存・共生主義」にある。そして、過去の日本の歴史体験から政府の行為によって再び戦争の惨禍を起こさせないことを決意されたものである。この認識に立てば戦力の不保持、交戦権の否定は当然である。

そして集団的自衛権が閣議決定されたが、論理的整合性がない。政府の論理に騙されないで国民が声をあげなければならない。

日本国憲法は戦争という最大の人權侵害を引き起こし、自国民のみならず他国民の人權も侵害したという歴史認識に基づき決意したこと、また、立憲主義によりすべて主権が国民にあることを宣言している。それゆえ憲法前文をよく読み解釈し、全体の構造を考え、これを踏まえて九条を考えること。そして、何が正しいかを常に考え続ける必要があると強調された。

戦後70年、政府はいつの場合も無責任であり国民を守らないことを思うとき、一人ひとりの責任の重大さを深く考えさせられる学びの機会を与えられた。(大工原 則子)

キリスト者のこぼれ

基督は吾人の本我なり。吾人の現在に於て具足せり。

植村 正久

植村正久は日本のキリスト教界における大先輩である。

一八五七年(安政四年)に江戸露月町に旗本の子として生れた。江戸幕府が倒壊し、明治新政府が樹立された時代である。幕臣の子弟であった植村も変革の中で、英語を学ぶために横浜の宣教師J・H・バラの私塾に通い、洗礼を受けた。失意の幕臣の子弟の一人として、新しい人生を求めたのである。

さらにキリスト教の伝道者を志し、東京一致神学校に学び、日本基督教会一番町教会の牧師となり、『福音新報』の主筆から東京神学校の校長ともなった。

その頃、日本組合基督教会の指導者、本郷教会の牧師、月刊『新人』の主筆であった海老名弾正と植村は「福音主義論争」といわれる神学上の大論争をした。植村は正統主義であり、海老名は自由主義であった。このような論争は今日こそ必要とい

わねばならない。

ところで一九六六年(昭和四一年)、赤岩栄は死の数カ月前に「イエスは私である」という趣旨を説いた。この言葉はかつて植村が言った「基督は吾人の本我なり」を現代的に語ったものではないか。今日、植村は正統主義といわれ、赤岩は異端主義とされているが、「基督は吾人の本我なり」という植村の言葉は「基督は私である」という赤岩の発言と少なくとも一点において等しいと言わざるをえない。

現代では植村正久は正統の最たる者とされ、赤岩栄は異端の極とされているが、少なくともこの言葉におけるかぎり、両者はひとしいというべきではないか。

今日、キリスト教はその根本から考えなおさなければならぬ時に来ている。

(笠原 芳光)

◆ キックオフ・ミーティングに参加して

6月13日(土)の午後、ファシリテーターに川島憲志さんを迎え、会員が各活動の位置づけを確認し新しい1年をスタートする「キックオフ・ミーティング」が行なわれた。初めて参加された方に感想をいただいた。

キックオフ・ミーティングが何なのかも知らず「時間がありますか?」で参加。YWCAの創立、目的を教えてください、少し近くなったような気がします。

川島さんのお話で参画と参加、協働と協同の相違をこの年になって知り、驚きながらもうれしかった。ただただその日一日を仕事し食べてという生活してたなあと。何に対しても、社会にとって、組織にとって深く考えていなかったし、これからは出来ないかもしれないが、このことを知ったおかげで、少し立ち止まって考えるという知恵をいただいた。

自分のこと、相手のことを知る話も、あらためて自分を知り人に話す難しさとともに、相手の話を聞いて、本当に相手が聞いてほしいことを聞き取っているのか?考えさせられた。

参加してよかったと思いました。ありがとうございました。

(田野 長江)

今回、初めて神戸YWCAのキックオフ・ミーティングに参加して、初めての参加なのと、歳も若いということであまりうまく話せるか緊張していましたが、アイスブレイクもあり、参加しやすい内容だったのと、参加されていた方も温かく迎えてくれたので参加しやすかったです。

参加者の方々も、神戸YWCAのさ

「口をつぐむ」福島を歩く。



ベビーカーを押しながら住宅地を歩く参加者

6月。福島駅にほど近い住宅地で、小型のパソコンがハンドルに取り付けられたベビーカーを押す男性と共に歩く10人ほどの男女。男性は時々立ち止まり、他の人々は男性の手元のモニターを真剣な表情で覗き込みます。

「数字がどんどん上がって行く!」「こんなところで1を超えるのか?」「カー口を出て数メートルしか歩かないのに」

「1」は1マイクロシーベルト/時(*).「カー口」は日本YWCAの活動スペース「カー口福島」。ベビーカーには、押して歩くことによって、地面からの高さが異なる3点の位置の線量を同時に測定し記録、GPSで地図や衛星写真にデータを表示する高性能の放射線量測定器が搭載されています。日本YWCAの「保養ワークショップ」はこんな風に始まりました。

福島市内では、除染が進みつつあるものの、通学路や公園など、人々

が普通に暮らす場所で、今もなお、高い数値がたたきだされます。「東北の女が我慢強いわけじゃないのよ」と、カー口福島のスタッフ。「被爆に対する意識は人によって違うから、<線量>や<不安>については皆、口をつぐみ、話題にすることすらできない」

福島や山形のNPOの興味深い話に耳を傾けたあと、福島YWCAの方に、除染で取り除かれた土壌の仮置き場に案内していただきました。目に見えない放射能が、ここでは青いビニールシートに覆われた巨大な墓標となって姿を現しています。口をつぐむ人々のかわりに、わたしたちの過ちを未来の世代に向かって語り続けているようにも見えました。

(梅澤 昌子)

* 環境省が除染を行なう際の要件は、0.23マイクロシーベルト/時。

さまざまな部署からきており、普段話す機会がない人や、活動内で顔を合わせているけどちゃんと話したことがない人とも意見交換ができたのでよかったと思います。

最後には今後の目標をみんなで共

有することができて、自分の意識も高まったし、そのことを周りの人に知ってもらうことであとで声をかけてもらったり、きっかけも作ることができ、緊張していたけど参加してよかったと思いました。(亀田)



父が戦地で消えたという知らせを聞いて不快そうな母に「なぜ戦争に反対せず、父を戦地に行かせたのか?」と尋ねた。母は「当時そんなことはできなかった、仕方なかった」と答えた。では、なぜそうなる前、言える時に、声を上げなかったのだろうか。後で悔やんでも間に合わなかったのだ。

震災の年(1995年)の夏、

避難所を閉鎖すると通告された避難者が市役所に詰めかけ、今後について説明を求めたとき、市の職員は腕組みし沈黙して一言も答えなかった。それを見て、命じられたらなんでも、戦争でもするのだと思った。

ユダヤ人の絶滅収容所への移送を担当したアイヒマンは「命じられたことをしただけだ」と述べ、ハンナ・アーレントはホロコーストを支えたのは「平凡な悪」だと考えた。我々も日常、平凡な悪を仕方がないこととして容認し、それが大きな災いをもたらすことを無視している。仕事だから仕方がない、当時は言えなかったと言いつつ、誤っている間に、取返しのない事柄になりつつある。今はまだ言える。言い続けたい。後で、「当時は言えなかった」とは言えない。

(野々村耀)

神戸YWCAへの おさそい

●わいわい科学クラブ (小学生対象)

8月22日(土) ①10時～11時15分②11時45分～13時③13時30分～14時45分(3部制)

「浮沈子(ふちんし)であそぼう」

場所 神戸YWCA分室

9月19日(土) ①10時～11時15分②11時45分～13時③13時30分～14時45分(3部制)

「手づくりスライムであそぼう」

場所 神戸YWCA分室

参加費 1回200円

●文学講座

『徒然草』を読む

9月15日(火) 13時30分～15時30分

講師 笠原芳光さん(京都精華大学名誉教授)

参加費 1,500円(1回)

(注) 場所の記載のないものはすべて神戸YWCA会館

●9月のアフタヌーン・ティー

「日本の教育改革—中教審委員として4年間を見た急速な教育改革について」

9月8日(火) 13時30分～16時

講師 長尾ひろみさん(大阪女学院教育研究センター長)

参加費 800円

神戸YWCA学院日本語学科のネパール人修生、ラマさんが母国の震災支援活動を行っています。募金にご協力お願いいたします。募金は100%支援のために使われます。本館1階に募金箱を設置しています。(振込先:三井住友銀行 住吉支店 普通 4022056 愛のかけはし)

神戸YWCA

ふれあい感謝バザー 2015

—つどろ・つきあう・つながる—

日時: 10月12日(月・祝) 10:30～14:30

場所: 神戸YWCA本館

夏季休館日: 8月10日(月)～15日(土)

平和の木に 花が咲くとき

～ひろしま平和大使
田村秀子さんを迎えて～

8月13日(木)

13時30分～15時30分

神戸YWCA

会館5Fチャペル

会費 500円

* 8月8日

(土)までに

お申し込みください。



ポーポキの ミニ平和映画祭

「グアムって、平和な島？」

8月7日(金)

18:30～20:30

神戸YWCA会館5Fチャペル

ゲスト: マイケル・ベヴァーカさん(グアム大学チャモル研究センター所長)

参加費: 無料(募金にご協力ください)

お問い合わせ・お申し込み: ポー

ポキ・ピース・プロジェクト

ronnianspopoki@gmail.com

■ 学院だより

日本語コースでは、6月15日から週3日全12回の文化庁委託事業「生活に役立つ日本語クラス」を開講。2クラス25人が受講し、託児も3組が利用した。

8月3日開講の「勉強に役立つ日本語」クラスでは、外国にルーツを持つ子ども達(13～18歳)が、3週間集中して学校の授業に必要な日本語を学ぶ。

9月には委託訓練「日本語・就業カススキルアップコース」が開講される。

日本語教師養成コースでは今年度も帝塚山学院大学、神戸女学院大学の日本語指導法実習生の受入れを行なう。

(原田 雅子)

■ まごの手だより

団塊の世代が75歳以上となる2025年には超高齢化社会に進む。介護保険を持続可能な制度とするため、今年8月より、介護保険の利用者負担が一定以上の所得がある人は2割負担となる。負担割合証が7月中旬に郵送された。

また、高額介護サービス費の負担限度額や特定入所者介護サービスの食費・居住費の軽減の見直しが行なわれる。

事業所も4月の介護報酬マイナス改定をいかに乗り切るか、また、新しい総合事業にどのように備えていくかが課題である。(松田 恵美子)

■ 分室だより

「わいわいテイルーム」は、毎週火曜日に開催されている、神戸市の委託を受けた生きがい対応型デイサービスである。最高齢の方は94歳。皆さん自分の足で分室まで来ていただく。いつもは分室の中で、音楽療法・体操・ゲーム・作品づくりなどを行なっている。

先日、年2回実施している外出プログラムがあった。三宮の雰囲気の良いイタリアレストランでランチをとり、北野工房を散策した。「楽しかった」

「おもしろかった」と喜ばれた。(大江 雅子)

■ 運営委員会報告

(6月)【報告】理事会報告【議事】キックオフ・ミーティングについて▶組織検討の合宿について▶安全保障関連法案の勉強会について▶3市Y交流会について▶田村秀子さん来神について▶夏季募金のアピール

(7月)【報告】理事会報告【議事】催し関連について▶賛同関連について(野村 春美)

■ 評議員会報告

6月20日(土) 定時評議員会開催。出席評議員7人。2015年度事業報告と決算を決議。理事及び監事の選任について決議。選任された理事・監事は、以下のとおり。

【理事】

大工原則子、寺内真子、

平山芳子、三浦啓子、宮田泰子、モア・アン・チョウ

【監事】

川関敏恵、川邊比呂子

■ 理事会報告

6月20日(土) 2015年度第1回理事会開催。代表理事に平山芳子を選任。(寺内 真子)

■ 賛助員

平木 貴美子 宮田 茂雄

山崎 道子

(敬称略)

■ 編集後記

「本当に止める」と全国で抗議行動を続ける若者たち。大人があきらめるわけにはいかない。(K・Y)

神戸YWCAは、安全保障法制に反対する抗議声明を7月11日付で安倍晋三内閣総理大臣・中谷元防衛大臣、および兵庫県選出の国会議員宛に提出しました。



ゴーフル®

いいものは
時代をこえて
生き続けます

神戸日月堂

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭

代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みく に

0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

尼崎市潮江4丁目2-2
URL: <http://sanosousai.com>